

新型コロナウイルス感染症に係る マーチング活動の手引き



JAPAN MARCHING BAND ASSOCIATION

一般社団法人日本マーチングバンド協会



2020年8月31日

「新型コロナウイルス感染症に係る

マーチング活動の手引き」の活用にあたって

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、加盟団体の皆様には先行きの見えない毎日の中で不安とともに活動されていることと存じます。

このような状況において、マーチングバンドの活動を可能な限り安全に行っていたいただくための一助とすることを目的に本手引を作成いたしました。

本協会では、理事会においてガイドラインの作成について5月の段階で検討を行いました。その結果、国及び都道府県のガイドラインや他競技の協会・連盟等においてガイドラインが作成されているが、そのガイドラインにより活動が制限されてしまっている地方や、地方により活動の状況が大きく異なることから、本協会独自のガイドライン作成は各団体の活動を阻害する恐れがあると結論付けました。

しかしながら、7月に入り部活動が再開されつつあり、活動を規制するガイドラインではなく、安全な活動を導く手引きの作成を行う必要があると考え、本手引の作成を進めてまいりました。

本手引は「ねばならない」ではなく、「こうしてみよう」という安全な活動の一助になることを目的としています。各団体の都道府県、市町村、学校のルールが、活動するメンバーの命を守る第一義的なものであると捉え、各団体の置かれた状況を最優先に活動をしていただくことが肝要です。ご理解の上、ご活用ください。

マーチング活動は、演奏に加えて動きが伴うことで、感染対策が困難になる場合もありますが、皆様と情報を共有しながらこの難局を乗り越え、築き上げてきたマーチングの歴史が途絶えることのないよう知恵を出し合っていきたい所存であります。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

2020年8月31日

一般社団法人日本マーチングバンド協会
理事長 田中 久仁明

1. 各団体における新型コロナウイルス感染症対応の基本的な考え方

- (1) 各団体の活動は、国、地方自治体、教育委員会、所属長、団体長の方針に従い活動をしていきましょう。
- (2) 社会情勢、感染状況などに変化があった場合には、柔軟な対応を行うとともにメンバーの安全を最優先していきましょう。
- (3) 活動にあたって生じた事故、病気、トラブルなどについては、各団体の責任です。感染状況や国、地方自治体の方針を遵守し、説明責任のとれる活動をしていきましょう。
- (4) 各団体においては、幅広く情報を収集し、可能な限りの感染予防策を講じ、活動される皆さんの安全を確保していきましょう。

2. 基本的な感染症対策の一例

★指導者とメンバーは共有認識をもち納得して感染対策に当たることが肝要です。

- (1) こまめな手洗いや手指消毒、休憩時間にうがいを行うなど基本的な感染症対策を行う。(うがいについては、他にうつさない、口腔内を清潔にすることで他の感染症を防ぐ目的と考える。)
- (2) 使用するタオル、つば拭きなどは各自で用意し共用しない。
- (3) 握手・ハイタッチなどは行わない。
- (4) 楽器から出る結露水や唾液などの処理場所を限定し、拡散しない対策を行うとともに事後の処理を適切に行い感染の防止に努める。
- (5) 唾液などの付いた手や手袋で、目などを拭いたりこすったり、他人に触れたり他人の楽器に触れたりすることがないように配慮する。
- (6) 共用する楽器については、
 - ①管楽器については共用しない。
 - ②ピット楽器や手具などについては事前、事後にこまめに手指やマレット等の消毒を行う。
 - ③管楽器以外はマスクやフェイスガード等を着用するよう努める。
- (7) 体温測定や体調管理について
 - ①練習や各種本番において各メンバーの体温測定を行い記録する。
 - ②風邪の症状や発熱を認められる者については参加を見合わせる。
 - ③体調管理と聞き取りをしっかりと行い、他のメンバーのためにも体調不良の場合は適正に申告し参加を見合わせる。(可能であれば直近2週間以内に、平熱を超える発熱、咳・喉の痛みなど風邪の症状、だるさ、息苦しさ、味覚嗅覚異常、が無いかを継続確認する)
 - ④感染拡大している場所に最近行った、感染が報告されている知人が居る場合、一定期間の参加を見合わせるなど感染を広めない対応を行う。

3. 各活動場面における感染対策例

練習前	<input type="checkbox"/> 体温測定や体調管理のチェック (継続して記録する)
	<input type="checkbox"/> 手指の消毒
	<input type="checkbox"/> 楽器庫への入室制限
	<input type="checkbox"/> 楽器・椅子・譜面台等、間隔を置いて準備
	<input type="checkbox"/> 排水バケツの準備 (金管楽器)
練習中	<input type="checkbox"/> 十分な換気
	<input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの確保
	<input type="checkbox"/> 排水バケツの管理
	<input type="checkbox"/> 管楽器以外のメンバーのマスク等着用
練習後	<input type="checkbox"/> 楽器、マウスピース、機材の消毒
	<input type="checkbox"/> 楽器庫への入室制限
	<input type="checkbox"/> 楽器・椅子・譜面台等の消毒
	<input type="checkbox"/> 排水バケツの処理消毒 (金管楽器)
	<input type="checkbox"/> 手指の消毒
	<input type="checkbox"/> 体調のチェック (継続して記録する)

(1) 練習前・練習中・練習後における感染対策

- ①楽器の積み下ろしなどで三密にならないよう注意する。
- ②楽器庫などに入室する人数をパートごとに定めて、密を避ける。
- ③可能な限り全体ランスルーの回数を減らし、個人練習やパート練習の回数を増やす。
- ④屋内練習会場における換気の徹底や、つば抜きから出る唾液などの感染対策を行う。
- ⑤指示を与えるために集合させる場合のソーシャルディスタンスを確保する。
- ⑥集合時や練習時の個人的な会話の回数を減らすとともに、演奏時以外はマスク等を着用する。
- ⑦フォーメーションで必要な場面以外では対面しての演奏を避ける。
- ⑧ターン等の際に管楽器から出る飛沫が飛び散ることの無いようメンテナンスを十分に行う。
- ⑨使用したマウスピースなどは練習終了後にしっかりと洗うなどのメンテナンスをして個人で管理する。
- ⑩唾を練習会場や本番会場で吐かない。
- ⑪飲みきれなかった水、飲料等を指定場所以外に廃棄しない。
- ⑫休憩や食事を摂る場合には密を避けるとともに、対面での会食にならないよう留意する。また、食品の交換や取り分けなどを避ける。

- ⑬指導者、メンバーともに怒鳴らない、叫ばない、大声を出さない、歓声を上げない。
- ⑭練習前後は必ず体温測定や体調管理を行い記録し、変化を見過ごさない。

(2) 更衣・トイレにおける感染対策

- ①更衣時においては、利用する部屋において他のメンバーと2m以上離れて着替えができるように人数制限を行うとともに、私語を避け、換気を十分に行う。
- ②更衣した衣服や使用した手袋、タオルなどは他人が触らぬよう注意を払い、個人で管理する。
- ③使用した椅子、机、ドアなどの消毒を可能な限り行う。
- ④汗拭きシートやマスクなど使用したものは感染対策専用のビニール袋等を準備し、練習終了時に廃棄する。
- ⑤便座を使用した場合、ふたをして流し、手洗い時には石けんを使い30秒以上行う。

(3) 指導者に求められる感染対策

- ①指導者においてもマスクやフェイスシールドを着用し、手洗い・手指消毒を行うとともに指導にあたっては、できるだけソーシャルディスタンスを確保する。
- ②指導者間でのミーティングや打合せにおいても、三密を避けるとともに会食を避けるなどの感染対策を行う。
- ③メンバーの体調管理を常に行い、体調不良者への自粛指導など適正に行う。また手洗い、マスクの着用など適正に行えるよう指導を行う。
- ④合奏やパート練習など、室内で練習する際には、可能な限り換気を行うよう指導する。また、配置等を工夫し密状態にならぬよう指導する。
- ⑤木管楽器、金管楽器、打楽器など各楽器の特性に応じた感染対策を行う。

【金管楽器】

●排水（管内の水分の処理）

①個人にバケツを用意して、ポリ袋をかぶせ中に新聞紙などを入れる。

②練習後にはポリ袋ごとゴミ箱（専用）に捨て廃棄する。

※処理に際し、マスク着用、手袋着用を義務付けることが望ましい。

●マウスピースの洗浄消毒

①水洗いをする。

②アルコールで軽く拭う。

【木管楽器】

- クラリネットなどの木管楽器は、表面のアルコール消毒は行わない。
- スワブの使用例
 - ①楽器にスワブを通す。
 - ②通したスワブを消毒する。
 - ③机の上などには置かず、バケツの中や楽器ケース、ジッパー付きビニール袋などに収納する。
 - ④練習後に洗い、乾かす。
- スワブを譜面台にかける、床に置くなどはスワブからのウイルスが拡散する可能性があるためジッパー付きビニールなどに収納する。
- クラリネットのマウスピースについてはアルコールでの変色の可能性が大きいのでアルコールは使用しない。プラスチックは影響が少ないとされている。

【打楽器】

- スティックは個人持ちとすることが望ましい。
- 共用マレット使用の際は、手に持つ部分をアルコールで消毒する。

4. 参加を自主的に見合わせてもらう目安の一例（個人）

- (1) 体調がよくない場合。（平熱を超える発熱、咳・喉の痛みなど風邪の症状、だるさ、息苦しさ、味覚嗅覚異常などの自覚症状がある場合）
- (2) 同居家族や身近な知人に感染者がおり、濃厚接触者に指定された場合。または、濃厚接触者に指定されていないが、周囲へ感染させる疑いがある場合。
- (3) 直近の2週間に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている地域への渡航、または上記該当者との濃厚接触がある場合。
- (4) 直近の2週間に立ち寄った施設、店舗などにクラスターが発生した事実が判明した場合。
- (5) 学校保健安全法で指定されている疾病に感染していることが判明した場合。

5. 差別につながらないことへの基本的な考え方

- (1) 万が一体調不良や発熱が認められ、練習や本番に参加できないメンバーがいた場合、その責任は体調不良者本人にある訳ではないことを事前にメンバーに確認しましょう。
- (2) 欠席や参加を辞退したりすることについて、やる気がない、消極的である、協調性がないということではないことをメンバーと共有し、報告しにくい雰囲気や差別や誹謗中傷が生まれないように事前に配慮した指導をお願いします。
- (3) 会話の機会が減る現在において、SNSなどを通じて行われる発言により、誤解や知らぬ間に人の心を傷つけてしまうことのないよう、この機会を通じて考えていけるよう指導をお願いします。

6. 接触確認アプリのインストール

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資するよう、新型コロナウイルス感染症対策テックチームと連携して、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA*）を開発しました。自身のスマートフォンにインストールし利用することで、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。

利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

【アプリのインストール方法】

App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

Google Play



<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

App Store



<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

7. おわりに

本手引は、巻頭にも記されているように、活動を規制するガイドラインではなく、マーチングバンドの活動を可能な限り安全に行っていただくための一助とすることを目的に作成されたものです。

ここに記載されている情報も一部の情報であり、すべてを網羅するものではありません。新型コロナウイルス感染症対策研究が進むことで、誤った情報になる部分もあることを御承知おきください。

その他、各楽器の特性に応じた感染対策や地域・環境・感染状況に応じ、団体ごとに積極的な情報収集をお願いします。

皆様と情報を共有しながらこの難局を乗り越え、築き上げてきたマーチングの歴史が途絶えることのないよう知恵を出し合っていきたい所存であります。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

8. 参考になるホームページ・引用文献等

文部科学省「学校の新しい生活様式」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html

文部科学省「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

ヤマハホームページ「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/index.html

ヤマハホームページ「管打楽器を安心して楽しむために」（手入れについて）

<https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/faq/index.html>

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」

～スクールバンドを中心とした吹奏楽活動における感染対策～

http://www.jas-wind.net/pdf/20200828COVID-19musiccultureprojectschoolband_ver2.pdf

愛知県吹奏楽連盟

「吹奏楽の活動に係るガイドライン」「マーチング活動の再開に向けたガイドライン」

<http://aiba.cloud/aibaWEB.html>

奈良県吹奏楽連盟、奈良県教育委員会「吹奏楽部の活動に係るガイドライン」

<http://www.ajba.or.jp/nara/pdf/guideline20200720.pdf>

岩手県吹奏楽連盟「事業実施のための新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」

<http://www.ajba.or.jp/iwate/2020/%E2%98%85%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E5%AE%9F%E6%96%BD%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3200612.pdf>

公益財団法人 東京都交響楽団「東京都交響楽団（都響）演奏会再開への行程表と指針」

<https://www.tmso.or.jp/j/wp/wp-content/uploads/2020/06/Guidelines.pdf>

厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA) COVID-19 Contact-Confirming Application)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

各都道府県高等学校体育連盟通知

全国高等学校文化連盟通知